

保護者 児童発達支援評価

2024年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいで広いスペースがあり、よかったです。 ・元気に走れるスペースがあり十分です。 ・走れる程度の広さはある。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせて対応してくれています。 ・十分しっかりみてもらえている。 ・バリアフリー化は適切。構造化についてはわからない。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(注i)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	94.1%	0.0%	0.0%	5.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりやスロープ、エレベーター等があり、バリアフリーになっていた。 ・椅子には目印、どこに何があるのか絵があり本人にもわかりやすい。段差もほぼなく適切です。 ・問題なし。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく過ごせる空間でした。 ・いつも清潔で気持ち良いです。 ・明るく清潔。子どもも過ごしやすそう。 ・朝の会や帰りの会をする部屋、先生の部屋自由遊びや運動する部屋それぞれに動物の名前がついており、子どもにもわかりやすくなっています。 ・問題なし。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(注ii)が作成されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。求めているものに作られています。 ・問題なし。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた適切な支援が設定されていました。相談したうえで可能な範囲で支援がありました。 ・本人をとともよく理解していただいたうえで支援計画を作成してくださっています。 ・はい。求めているものに作られています。 ・問題なし。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・主にトイレトレーニングの成果があり、良かったです。 ・問題なし。
	⑧	活動プログラム(注iii)が固定化しないよう工夫されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や運動、製作など組み合わせられました。 ・問題なし。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	23.5%	5.9%	29.4%	41.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・機会はないが、現状求めている。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に説明がありました。 ・問題なし。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・細かく説明があり、項目別の支援内容の話をしてくれました。 ・しっかり丁寧に説明していただいた。 ・問題なし。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(注iv)等)が行われているか	58.8%	11.8%	5.9%	23.5%	・行われていない。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・通所した日の出来事を教えてくれるので、その日の様子や成長が確認できました。 ・毎回活動の記録を詳細に書いてくださり、子どもの様子や課題がわかりやすい。 ・送迎の際にコミュニケーションの機会が設けられている。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94.1%	0.0%	5.9%	0.0%	・報告書に困ることや大変に思っていることを書くとお助言があり嬉しかったです。 ・いつでも話を聞いてくれ、とてもありがたい。 ・まだ行われていない。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	70.6%	5.9%	5.9%	17.6%	・保護者会はなかったです。 ・参加できておらず、なんとも言えない。 ・まだ行われていない。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	・相談にも親切に対応して下さり、安心して通所させられました。 ・些細な相談であっても、電話や連絡帳ですぐに連絡をくださいます。子ども本人だけでなく、保護者に対しても手厚くフォローして下さいます。 ・おおぬね問題なし。少し迅速さがあると嬉しい。
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・ノートやLINEなどで分かりやすく伝えてくれている。 ・アプリなどで今日の活動としての写真が見れるとより嬉しいです。 ・問題なし。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	94.1%	0.0%	0.0%	5.9%	・把握していない。
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・写真掲載の可否を事前に確認してくれました。 ・問題なし。
非常時の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	70.6%	11.8%	0.0%	17.6%	・説明はされている。訓練の実施状況はわからない。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	88.2%	0.0%	0.0%	11.8%	・様々な訓練がありました。 ・訓練の実施状況はわからない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
満足度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・すごく楽しみにしている。「たのしいさん」と伝えているのに「〇〇先生の日」となっている。先生大好き。 ・大人しく車に乗って通所していたので、楽しい所に行くからだと思います。 ・出会えてよかったです。子どもの居場所が増え安心です。 ・楽しく通えています。ありがとうございます。 ・喜んで通所している。
	②③	事業所の支援に満足しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・家ではできない支援や集団生活の中でのふるまいなど役立つことが多くあり通わせて良かったです。 ・秋祭りなどのイベントを開いてくださるのが嬉しいです。子どももいつも遊んでくれている先生に会えて嬉しそうにしていますし、楽しい時間を過ごせました。 ・とても満足している。一人一人の先生がしっかり見ていると感じる。送迎もとてもありがたい。どこにも不満はない。 ・トイレトレーニングをここまでしっかりしてくださる事業所は他にないと思います。 ・子どもの性格を考えながら、一人一人に合わせた支援をしてくださいます。 ・子どもが喜んでいるため満足。

(注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。